



# 学園だより



宮城県立支援学校岩沼高等学園

電話 0223-25-5332

FAX 0223-25-5333

宮城県岩沼市北長谷字豊田 1-1

<http://iwanuma.myswan.ed>

令和7年6月20日発行

令和7年度の生徒数 1学年40名 2学年38名 3学年37名

川崎キャンパス 1学年3名 2学年 3名 3学年 7名

教職員数 本校 63名 川崎キャンパス 9名 事務職員 6名

## のびのび育て！岩学生

校長 関 和佳子



岩沼の、目の覚めるような鮮やかな深緑の中、4月に入学した40名の1年生をはじめとする本校生徒115名は、のびのびと学校生活・寄宿舎生活を送っています。岩沼地域の皆さまには日頃から本校生徒を温かく見守り、支えていただいておりますことに、感謝申し上げます。

本学園は、生徒たちが卒業後一般企業に就職して職業的に自立し、社会に参加できる人材を育成することを目指しております。そのため、毎日の学習では、国語や数学といった基本的な教科に加え、技術の習得と、働く姿勢を身に付けるために、工業、農業、家政、流通・サービスの4つの専門教科を体験的に学んでいます。今年は5月8日の田植えの様子を、k h bと河北新報に取材していただきましたが、今後さらに、生徒たちが手がけた生産物等を手に取っていただける機会を増やしてまいります。

職場実習においても、地域の事業所の皆さまには貴重な実習の機会をいただき感謝に堪えません。これからも本学園の生徒の活躍を応援いただければと思います。

## 笑顔あふれる 25 期生

1学年主任 葛原 茂樹



「蔵王の山の雲晴れて 緑の風が光っている 明るい笑顔をいつまでも 明日を目指して学び合う我ら岩沼高等学園生」

上は岩沼高等学園の校歌ですが、周囲の自然豊かな風景とともに、本学園の生徒にこう育ってもらいたいという思いの詰まった歌詞であります。桜の花が満開になった4月8日、25期生40名が入学しましたが、その後、山々の緑がどんどん濃くなっていくように、生徒はすくすく成長しており、風のような速さで6月には1回目の職場実習を迎えました。

入学後、間もない学年集会のときに、私が生徒の皆さんに伝えたことは、最初の1年間で身に付けてほしいのは「挨拶ができること」、そして、校歌のように「明るい笑顔」で40名全員が学校生活を送ってほしいということでした。いずれも、卒業後の職業的自立を目指すうえで大切なことです。生徒の皆さんには本学園を選んでよかったと思えるように、そして、学校が大好きだと言える愛校心を持てる学びを日々実感できるように取り組んでまいりたいと思います。自分や級友、保護者、地域に暮らす人々、そして、実習先でお世話になる職場の方々など、誰もが明るい笑顔で暮らせることが、この1年間の1番の願いです。



## 【24期生の2年目がスタート！】

2学年主任 久野 輝美

本校24期生の2年目の学園生活がスタートしました。昨年の入学してきた時の様子と比べると、見た目だけではなく、1年間の学校生活や寄宿舎生活を送った貫禄も見受けられ、大きな成長を感じます。今年度は、寄宿舎生から通学生になった生徒が多く、自宅から毎日登校することで、体力や忍耐力が向上することを期待します。寄宿舎生については、後輩と関わることで、人間性を磨いていけることを期待しています。

さて、5月14日から6月3日まで、3週間の職場実習が行われました。それぞれが新たな経験を積み重ね、一回り成長して戻ってきました。本校3年間における職場実習の半分の回数を終え、次回からは経験の拡大を図るねらいから、就労を掛けて臨んでいく実習にシフトしていきます。更に生徒個々の力を向上できるよう、自己の課題を意識して日々の学校生活を送れるように、学年一丸となって取り組んでいきたいと思っています。



## ～希望の実現～なりたい自分になる～

3 学年主任 浜中 真由美



今年の学年目標は「希望の実現～なりたい自分になる～」です。これは、一年生の時から少しずつ積み重ねてきたことがしっかりと実を結び、自分の希望を叶えて～なりたい自分になって～卒業して欲しいという願いをこめて設定したものです。なりたい自分になるためにはどうしたらよいかということで、卒業式を迎えるときにどんな自分になっていたいかを考えること、やるべきことはしっかりとやること周囲の人達を大切にすること、一時の感情に流されないこと、そして、最後の一年になるので学校生活を楽しむことも忘れないでほしいと話しています。5 月には職場実習が始まり、一人一人が自分の夢に向かってそれぞれの職場で頑張っています。

生徒達が笑顔でこの学校を巣立っていく日が迎えられるように3 学年教員一同しっかりと支援していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



## ひとつ屋根の下

寮務主任 千葉 智子



「ひとつ屋根の下」は寄宿舎の生活の様子をお伝えするために寄宿舎指導員の先生方が発行している寄宿舎だよりの名称です。今年度は1 年生4 0 名、2 年生3 名、3 年生5 名の計4 8 名で「ひとつ屋根の下」での生活がスタートしました。

寄宿舎では、集団生活を通して、基本的生活習慣の確立や社会性の向上を図ることを目標に生活しています。一年生は初めてのことばかりで、とまどうことが多かったようですが、2、3 年生の先輩方や寄宿舎指導員の先生方にやさしく、丁寧に教えていただいたおかげで、徐々に集団生活にも慣れ、笑顔が見られることが多くなってきました。

寄宿舎生は、学校周辺の清掃や除草を行う地域清掃や近隣のコミュニティーセンターで清掃活動などに取り組むボランティア活動にも取り組んでいます。地域の方々に温かく見守られながら、地域の一員としての自覚が養われてほしいと思っています。

たくさんの方々に支えられながら、卒業後の社会参加、職業的自立に向け、様々なことに挑戦し、成長してほしいと願っています。



## 対面式・生徒総会

生徒会担当 若林 利弥



4 月1 0 日（木）に対面式を実施しました。岩沼高等学園にはどんな行事があるのか、どんな部活動があるのかを、2、3 年生が1 年生に紹介しました。部活動紹介では、各部活動の特色を生かした発表を行い、1 年生にしっかりと各部の良い所をアピールすることができました。1 年生はこれからの学校生活のイメージを持つことができたようでした。

5 月9 日（金）に生徒総会を実施しました。生徒会や委員会、部活動の活動内容や予算について協議しました。今年度は、生徒会長より生徒会規約の改正についての提案がありました。生徒会として学校生活をより良くしたい思いを全校生徒へ伝え、改正を行うことができました。議長を務めた3 年生は緊張している様子でしたが、スムーズに議事を進めることができました。また、議案書を見ながら真剣に話を聞く姿が見られ、充実した生徒総会となりました。

## 大雨・土砂災害避難訓練

防災担当 岡部 彩子



本校では防災教育の一環として、大雨土砂災害や地震、火事、不審者対応などの避難訓練を、1 年を通して4 回実施しております。今年度、最初の避難訓練は、「大雨・土砂災害」を想定した訓練で、4 月1 8 日に実施しました。本校は、西側に千貫山丘陵があり、岩沼市のハザードマップによると、敷地の一部が土砂災害警戒区域となっています。1 年生は、本校での初めての避難訓練でしたが、事前学習では、避難時の心得「おはしも」の確認や避難経路、避難場所の確認をしっかりと確認することができました。どの学年の生徒の皆さんも実際に避難する際には、真剣に先生方の指示を聞き、避難場所まで落ち着いて行動することができました。避難を終えた後には、土砂災害の動画を視聴し、水害から身を守る行動や避難における「5 段階の警戒レベル」などについて学びました。

今回は、夏休み明けに学校敷地内に不審者が侵入したことを想定して避難訓練を行う予定です。



これからの主な行事

7 月22 日（火）～8 月24 日（日） 夏季休業日  
7 月24 日（木） オープンキャンパス（中3 対象）  
11 月15 日（土） 学園祭一般公開日

